

平成30年度いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

取手市 解説

組	番	氏名
---	---	----

番号	解 説	答
1	チャレンジデーとは、毎年5月の最終水曜日（平成30年は5月30日）に全国で一斉に開催される住民総参加型のイベントで、当日の午前0時から午後9時までの間に15分以上継続して運動をした人数を集計して人口の規模に近い自治体同士で参加率を競います。今回初参加の取手市は、3回目の参加の山形県の米沢市と対戦しましたが、参加率27.2パーセント対55.0パーセントで残念ながら負けてしまいました。	2
2	2013年(平成23年)に始まった取手JAZZ DAYz!は、今年で8年目を迎えました。毎年著名なアーティストを招待し、屋台の出店もしています。	4
3	「取手宿本陣（染野家）」は、茨城県指定有形文化財です。江戸時代、宿場には参勤交代などの大名が泊まる本陣が置かれ、その土地の有力者や豪族の屋敷が充てられました。染野家は代々取手宿の名主を務めた家柄で、1687年（貞享4年）に水戸徳川家から本陣に指定されました。	2
4	1878年（明治11年）に当時の当主であった染野晋が五等郵便取扱役に任命されました。現在の旧取手宿本陣の建物の正面、式台玄関の右側にあるガラス戸が明治初期に郵便局として使われていた頃の窓口跡です。	1
5	取手市は、利根川と小貝川の二つの川に囲まれています。鬼怒川は栃木県日光市から利根川（守谷市内）へ、新利根川、桜川はそれぞれ利根町、桜川市から霞ヶ浦へ流れています。	3
6	1896年(明治29年)に開通した常磐線は、当時は日本鉄道土浦線と呼ばれ、現在の東京都の田端と土浦間を結んでいました。取手市内には取手駅、藤代駅がありました。	4
7	陸前浜街道(りくぜんはまかいどう)は明治時代初期に現在の国道6号線に相当する街道のうち、東京都荒川区から宮城県岩沼市までの区間につけられた名称です。「陸前」という名称は街道の終点となる岩沼・仙台が陸前国に属したことに由来します。	2
8	これまで取手市の魅力を表現するブランドメッセージがありませんでした。そこで、公募により「ほどよく絶妙とりで」というブランドメッセージに決定しました。これは取手市の魅力を前向きに表現するメッセージで、イメージ動画も発信しています。	3
9	アメリカ合衆国のユーバ市と旧藤代町は、1990年(平成2年)に姉妹都市協定を結びました。2005年(平成17年)取手市と旧藤代町合併後も、取手市はユーバ市と姉妹都市交流を引き継いでいます。	2
10	稲戸井（いなとい）は1889年(明治22年)4月1日に稲村、戸頭村、野々井村、米ノ井村の4つの村々から1字ずつとってできた地名です。	3
11	正岡子規は『水戸紀行』において、取手は東京を出てからは一番繁華な町で、西洋風の家も見受けられると書いています。正岡子規の『ホトトギス』や『墨汁一滴』には、取手の俳人仲間との活動の記録が記されています。坂口安吾は、昭和の作家で、代表作は『堕落論』や『白痴』。1939年(昭和14年)から1940年(昭和15年)の一時期取手に住んでいました。軽部烏頭子は取手市浜田出身の昭和の俳人です。	1
12	取手市では、学校図書館と取手市立図書館の連携事業「ほんくる」を2017年(平成29年)10月25日から取手市内全小中学校で開始しました。学校図書館を市立図書館のサービス窓口として活用するのは茨城県内でも初めての取組みです。	4
13	取手市には守谷市、つくばみらい市、龍ヶ崎市、利根町、千葉県柏市、千葉県我孫子市が隣接しています。つくば市は取手市の北に位置していますが、隣接はしていません。	4
14	江戸時代、宿場には参勤交代で大名が宿泊する本陣が置かれ、その土地の有力者や豪農などの屋敷が充てられました。水戸街道の宿場の一つ、藤代宿の本陣は現在の藤代公民館の場所にあり、代々飯田家が務めていました。本陣の建物は町村合併による庁舎建設のため、1955年(昭和30年)2月に取り壊され、現存していません。	2
15	取手は、1970年(昭和45年)10月1日に市制施行をし、取手市となりました。	3
16	信楽寺（しんぎょうじ）には『絹本金箔地刺繍釈迦涅槃図』（けんぼんきんぱくじししゅうしゃかねはんず）という掛け軸があり、市指定文化財となっています。寛文9年(1669年)、近隣の人々から資金を集め、京都の縫箔師（ぬいはくし）が3年をかけて制作しました。涅槃図の周囲には費用を寄進した人々の名前が刺繍されています。	1
17	2001年（平成13年）に開設された利根川レンタサイクルステーションでは、無料で自転車の貸し出しをしています。とりでアートギャラリーきらり、サイクルステーションとりで、取手ウェルネスプラザはそれぞれ平成14年、平成26年、平成27年に開設されました。	4
18	『襲名犯』で第59回江戸川乱歩賞を受賞した竹吉優輔氏が、受賞後1作目に発表した作品が『レミングスの夏』です。小学生のころに仲間を失った中学生たちの友情をテーマにした物語で、取手に実在する学校や施設も登場しています。	2
19	取手市の面積は約70（69.94）平方キロメートルです。	3
20	取手市民のうたは、「めだかの学校」や、「ちいさい秋みつけた」など数々の曲を手掛けた作曲家、中田喜直（なかだよしなお）氏が作曲を担当しました。その1番の出だしの歌詞は、「みどりあふれる大利根の」です。	1
21	現在の取手市内にある公民館の中で最初に設立されたのは昭和45年に設立された中央公民館です。小文間公民館、永山公民館、藤代公民館はそれぞれ昭和50年、51年、55年に設立されました。	2
22	2019年に開催される「いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会」の取手市の正式競技は、自転車とボウリングで、それぞれ取手競輪場とフジ取手ボウルが会場となります。太極拳とエアロビはそれぞれ公開競技とデモンストラーションスポーツとしてグリーンスポーツセンターで行われます。	4
23	取手市にある岡堰（おかぜき）は、1950年(昭和25年)に茨城県の観光審議会が選出した茨城百景に選ばれています。	1
24	常総地方の各市のキャラクターが行政施設、観光施設、グルメスポットまでのルートを案内する「ふらっと!294」のメインキャラクターは、取手市の取手きらり、つくばみらい市の筑波未来（つくばみらい）、常総市の姫野砒花（ひめのれいか）です。とりかめくんは取手市の掲げる「スマートウェルネスとりで」の推進のために誕生した健康づくりキャラクターです。	3
25	伊奈忠治（いなただはる）は、関東郡代（ぐんだい）として、江戸時代初期の民政に抜群の手腕をふるいました。小貝川と鬼怒川を分離して、福岡堰の前身の山田沼堰や岡堰を設け、用水路や排水路を開削して谷和原三万石（現在のつくばみらい市）、相馬二万石（現在の取手市）を開発しました。	4